とかちローカルサミット G8セッション

## テーマ:「持続可能な地域と環 境」



## (M) 篠上 雄彦

新日本製鐵株式會社 環境部環境リレーションズ グループマネ ジャー

- ◆ 早稲田大学政治経済学部政治学科卒
- ◆ 1980年新日本製鐵㈱入社。
- ◆ 釜石製鐵所、本社薄板販売部、名古屋製鐵所環境管理 室部長代理等を経て、2001年から現職。
- ◆ 環境リレーションズの企画・推進、「環境・社会報告書」の編集長、技術移転によるCDMプロジェクトの推進等を担当。
- ◆ (社)日本鉄鋼連盟環境・エネルギー標準化委員会委員 環境法政策学会会員等。



## (K) 畠山 重篤

「牡蠣の森を慕う会」代表 京都大学フィールド科学教育研究センター社 会連携教授

#### <略歴>

◆ 1943年中国上海生まれ。高校卒業後、牡蠣、帆立の養殖に 従事する。家業のかたわら「森は海の恋人」を合言葉に、気仙 沼湾に注ぐ大川上流の室根山への植樹運動を続ける。

#### 【主な著作等】

◆『日本<汽水>紀行』(文藝春秋/日本エッセイスト・クラブ賞)、『漁師さんの森づくり』(講談社/産経児童出版文化賞JR賞・小学館児童出版文化賞)、『森は海の恋人』『リアスの海辺から』(共に文春文庫)など



## 森鐘一

モリエコロジー株式会社代表取締役、 博士(工学) 国際日本文化研究センター 共同研究員

- ◆ 昭和48年 新日本気象海洋(株)(現)いであ(株) 入社
- ◆ 昭和51年同社退社後、同年、(株)海洋生態研究所を設立し代表 取締役に就任。
- ◆ 昭和61年(株)海洋生態研究所を退社し、昭和61年モリエコロジー(株)設立し、代表取締役に就任、現在に至る。
- ◆ また、平成17年に国際日本文化研究センター共同研究員に着任 し、現在に至る
- ◆ 富栄養化現象の現況報告及び解析と物理化学的環境が生物に及ぼす影響について調査、解析、環境アセスメント、環境に優しい工事計画などのコンサルタントを行っている。



## 川上毅

環境省 廃棄物・リサイクル対策部 企画課 循環型社会推進室長

- ◆ 慶應義塾大学経済学部
- ◆ 平元.4 環境庁入庁
- ◆ 平元.4 "大気保全局企画課
- ◆ 4.4 ″ 水質保全局水質規制課主査
- ◆ 5.7 ″ 企画調整局企画調整課計画調査室計画調査係長
- ◆ 8.5 経済協力開発機構本部環境局(フランス)
- ◆ 10.12 環境庁企画調整局企画調整課調査企画室室長補佐
- ◆ 11.7 ″ 長官官房総務課課長補佐
- ◆ 12.6 ″ 水質保全局企画課課長補佐
- ◆ 13.1 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課課長補佐
- ◆ 13.7 "大臣官房総務課国会連絡調整官
- ◆ 14.7 滋賀県琵琶湖環境部自然保護課長
- ◆ 16.7 経済協力開発機構本部環境局環境政策審査課管理官(フランス)



## 延澤 栄賢

真宗大谷派 宗務所 主事

- ◆ 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌本部事務室(略 称:御遠忌本部事務室)
- ◆ 真宗本廟両堂等御修復事務所(略称:御修復事務 所)
- ◆ 東本願寺の御影堂修復工事や東本願寺と環境を考える市民プロジェクトの担当者 \*\*



## 工藤大輔

帯広商工会議所青年部 副会長 日新ハウス株式会社 代表取締役 NPO法人コミュニティシンクタンクあうるず理 事

- ▶ 1965年3月20日生大分県別府市出身
- ◆ 日本大学商学部卒
- ◆ 建設コンサルタント会社に勤務後、日新ハウス株式会社入社
- ◆ 2000年 同社代表取締役就任 現在に至る
- ◆ NPO法人コミュニティシンクタンク あうるず にて、さまざまな地域での活動と連携しながら、地域戦略、施策に関する提言・実行
- ◆ 活動例・エゾシカ皮を使ったバッグ(コムニブランド)の製作・音楽を 通じたCO2削減運動(バイオマスライブ)など



## 爲廣 正彦

株式会社更別企業 代表取締役 株式会社エコERC 取締役専務 北海道バイオディーゼル研究会幹事 NPO法人十勝エネルギーネットワーク専務理事 更別村商工会理事 さらべつ村民フリートーク委員会座長

- ◆ 河西郡更別村出身、更別村在住
- ◆ 昭和35年1月28日生まれ
- ◆ 平成7年4月に山形県からUターンして、有限会社更別企業を設立。浄化槽設計施工のほか一般廃棄物処理を主たる業としている。BDFの精製については、平成12年から試験研究に着手し、平成18年2月から本格的に開始している。



## 野中ともよ

NPO法人ガイア・イニシアティブ代表

#### <略歴>

- ◆ 東京都出身。
- 上智大学大学院文学研究科前期博士課程終了。
- ◆ 1979年より、NHK、テレビ東京等で多数の番組メインキャスターを務める。 日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社理事長、アサヒビール株式 会社取締役などを経て、2002年6月より三洋電機株式会社取締役、 2005年7月~2007年3月同社代表取締役会長。
- ◆ 2007年8月にNPO法人ガイア・イニシアティブを設立、代表を務める。また、現在は内閣府沖縄振興審議会委員、宇宙航空研究開発機構 (JAXA)経営アドバイザーも兼務。

#### 【著書等】

◆ 『心をつなぐ生き方』、『ガンバレ、自分!』『私たち「地球人」』ほか多数。



## 鈴木 悌介

(株) 金属 清鮮本店 代表取締役副社長 会廣かまぼこ(株) 代表取締役副社長 株) 小田原鈴廣 代表取締役副社長

- ◆ 昭和56年 スズヒロUSA社長 (米国ロスアンゼルス)
- ◆ 昭和60年 JACクリエイティブフーズ社長(米国ロスアンゼルス)
- ◆ 平成 3年 鈴廣商事株式会社並びに
- ◆ 鈴廣蒲鉾工業株式会社常務取締役
- ◆ を経て平成8年より現職に就任し、現在に至る。

## セッションの様子





## テーマ:「持続可能な地域と環境」 セッションキーワード

- ◆ 海と森の重要性、海と川と森をつなぐ鉄分の重要性
  - ◆ 脊梁山脈から2万1千本の河川、日本の周りは海の森 本の森林面積70%、高知では80%⇒しかし金がない
- ◆ 食もエネルギーも原料も海外依存、フードマイレージ
  - ◆ 食はいのちにかかわる、日本の魚は昔も今も海外依存、
- ◆ 化石燃料の枯渇は目前
  - ◆ 資源を利用するだけの経済からの脱却
- ◆ 自然を支配・利用する人間中心主義の限界、西欧近代合理主義の限界
  - ◆環境問題は人間の心の問題、e.g海・湖・堀・川の汚れ
  - ◆ "人間と環境"、"中央と地方"等の二分法からの転換

# テーマ:「持続可能な地域と環境」 志民による具体的アクションプログラ

- ◆ 海と森の多様な価値の認識、沿岸を大切にする教育・森と川と海をつなく 教育の取組みー「地域循環圏」構想
  - ◆ 森里海連関学の普及、持続可能な漁業─e.g.定置網の見直し、水源の森づくり・郷土の森づくり・海の森づくりの拡大
- ◆「必要なものを必要なだけ必要な質で」資源投入、地域での循環・"地まかない"の拡大による経済性の自然な追求、e.g.なたね油利用のBDF・食料 残渣利用の有機肥料、
  - 伝統的なものの見直しe.g.梅酢、我慢しないプラス思考
- ◆ 自然に対する考え方の転換
  - ◆ エコシステムの中に人間がいる、ガイア思想=「生かされている自分」の認識、「いただきます」=いのちへの感謝の思想、農業もエネルギーも水産業も「つながっている」ことを自覚する、他人や他地域と比較しない自分のものさしを大事にする、マネーゲームに利用されない心構え、海外の「志民」との連携、東アジアでの3Rの連携
- ◆ 【結論】「あほ;あつくほれ込むひと」の会の結成と連帯 あほになり、いのち見つめて、うん信じ、えんを大事に、おんもわすれず